

# 当院のプロセスパスの現状

市立宇和島病院

看護師 松田千春

# 運用中プロセスパス

- 結腸・直腸切除術プロセスパス
- 心臓カテーテル検査プロセスパス

# 従来のパスの問題点

- ① 手術前よりストーマ造設が予定される場合はパス適応ができなかった。
- ② 手術中の判断でストーマ造設となった場合は手術後にパス中止となっていた。
- ③ 心カテパスはPTCA目的の入院患者では使用していなかった。
- ④ PTCAとなった場合に移行パスの利用が低かった。

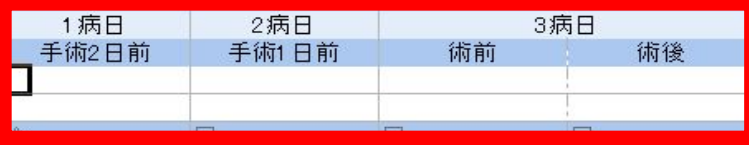
パス情報 0400044 プロセスパス結腸・直腸切除手術  
 DPC  
 標準適用日数 14日 有効期間 2008/09/24(水) ~ ----- 作成状態 **パス承認済**  
 コメント

1	2	3	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
		術前	術後										

手術日(2分割)	1病日	2病日	3病日	4病日	5病日	6病日	7病日
日数計算	手術2日前	手術1日前	術前	術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目
評価							
アウトカム	P.患者所見						
入院日数							
DPC点数							
評価							
P.患者所見							
◆手術、麻酔に対する不安		◆手術、麻酔に対する不安が表出できる		◆手術、麻酔に対する不安が安定している			
◆創痛がコントロールされる							◆創痛がコントロールされる
◆ドレーン排液が膿がない							◆ドレーン排液が膿がない
◆飲水による悪心・嘔吐がない							◆飲水による悪心・嘔吐がない
◆スムーズに離床できる					◆スムーズに離床できる		◆スムーズに離床できる
◆病棟内歩行ができる							◆病棟内歩行ができる
◆病棟内ができる							◆病棟内ができる
L生活(活動・清潔)							
E理解・自己管理							
◆手術の準備が整っている		◆手術の準備が整っている	◆手術の準備が整っている				
◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する		◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する	◆手術の必要性を、患者・家族が理解し同意する				
移動給食	移動						

1つ目のパス  
入院～手術当日

2つ目のパス  
手術後1日目～退院まで  
①ストーマなし ②ストーマあり



# 結腸・直腸切除術プロセスパス

A-1:00  
腹腔鏡下結腸  
適応日数: 3日間

A-2:00  
ストーマなし(予定)  
適応日数: 11日間

B-2:00  
ストーマあり(候補)  
適応日数: 21日間

手術後に医師が2つ目のパスを2つから選択し入力する必要がある

# 心臓カテーテル検査プロセスパス

心カテ検査前  
適用日数:1日  
初期状態:適用

心カテ適用日数:3日  
適用状態:予定

PTCA(上肢)  
適用日数:7日  
適用状態:候補

PTCA(下肢)  
適用日数:7日  
適用状態:予定

検査後に医師が2つ  
目のパスを3つから  
選択し入力する

# プロセスパス導入後の課題

- ① 手術・検査後に2つ目のパスを入力することで、その後の検査・点滴などのオーダーが反映されるため、手術後の点滴をすぐに準備することが難しく、術後に点滴を準備することが多くあった。
- ② 医師が2つ目のパスを入力する際にパスの選択ミスがあり、パス中止になることがあった。

# 解決策

- ① 2つ目のパスに組み込まれていた点滴のオーダーを1つ目のパスに組み込むことで、事前に点滴のオーダーが入力され、術後に点滴を取りに行く必要がなくなった。
- ② 医師間でプロセスパスの注意点を周知することで、入力ミスがなくなった。



# プロセスパスの効果

- ① プロセスパスにすることで、パス適応患者が増加し、パスの運用率も上昇している。
- ② パス適応患者への介入が、医師・看護師で統一され、早期退院へと繋がっている。
- ③ 多数のパスを必要とせず、1つのパスで運用が可能となり、簡略化されている。
- ④ プロセスパスにすることで評価がしやすく、パスバリエーション・パス中止の件数が減少した。

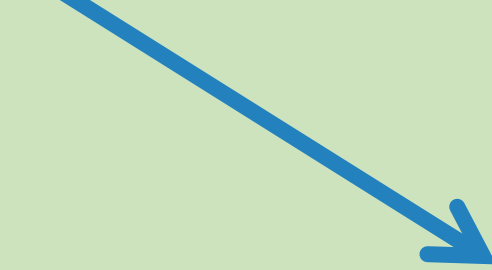
# 当院におけるプロセスパスの展望

## • 肝細胞癌

肝動脈造影



動脈塞栓術



動脈塞栓術＋

ラジオ波凝固療法



ご清聴ありがとうございました